

一次救命処置の教育効果に関する研究のお知らせ

帝京大学シミュレーション教育研究センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2019年6月27日 ～ 2023年3月31日

〔研究課題〕

医療系学部生に対する一次救命処置実習の教育効果

〔研究目的〕

一次救命処置実習の授業を受けることにより、修得した心肺蘇生法のスキルを数値化し解析します。また、アンケートにより実習前後で意識変化があったかを調査します。

〔研究意義〕

心肺蘇生を実施するには、適切に胸骨圧迫や人工呼吸法を修得することが必要です。医療人を目指す者は、学生のうちから手技を身につける必要があります。この教育方法を調査することにより、心肺蘇生実習の更なる充実を目指します。

〔対象・研究方法〕

2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)に一次救命処置を学んだ学生全員を対象とします。フィードバック装置に記録した心肺蘇生スキルを、解析します。また、実習の前後で実施したアンケート調査の記録を用いて、知識や意識変化があったかなど統計的手法を用いて解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学 シミュレーション教育研究センター

〔個人情報の取り扱い〕

情報は適切に管理し、個人情報を保護します。解析結果を調査研究以外で使用致しません。また、解析結果は成績に反映しません。

対象となる学生で、ご自身のアンケート結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

帝京大学シミュレーション教育研究センター

講師 竹内 保男

住所：板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 41900]